



追加型投信 / 国内 / 株式

優良日本株ファンド〈愛称:ちから株〉

ファンド情報提供資料
データ基準日:2024年12月30日

当ファンドの運用状況と今後の市場見通し等

※本資料は、投資家のみなさまに「優良日本株ファンド〈愛称:ちから株〉」の運用状況と今後の市場見通し等についてご説明するために作成したものであり、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

平素は「優良日本株ファンド〈愛称:ちから株〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
本資料では、当ファンドの運用状況や今後の市場見通し等についてご説明いたします。

当ファンドの設定来の運用状況

- 当ファンドは、主にわが国の競争力のある優良企業の株式の中から、割安度等に着目して投資を行います。
- 当ファンドの基準価額は分配金再投資ベースで見ると設定時の約6.3倍に成長しており、投資成果を積み上げてきました。2024年は、7月から8月上旬にかけて急落する局面もありましたが、その後は年末にかけて回復基調を辿りました。

当ファンドのパフォーマンス

(期間:2009年3月18日(設定日)~2024年12月30日)



・上記グラフの「当ファンド(円)」は、基準価額(分配金再投資)、1万口当たり、運用管理費用(信託報酬)控除後です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・2024年2月に参考指数:東証株価指数(TOPIX)を設定来から「配当込み指数」に変更しています。参考指数は、国内株式の値動きをご説明するために表示しており、当ファンドのベンチマークではありません。

「R&I ファンド大賞2023」
投資信託 / 国内株式コア 部門

最優秀ファンド賞 受賞

ちから株は、R&Iの「R&I ファンド大賞2023」
投資信託 / 国内株式コア 部門におきまして、最優秀ファンド賞を受賞いたしました。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」は過去3年間を選考期間とし、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウンを加味したうえで選考している。表彰対象は償還予定日まで1年以上の期間があり、残高がカテゴリー内で上位50%以上かつ30億円以上。選考対象は国内籍公募追加型株式投信とし、確定拠出年金専用およびSMA・ラップ口座専用以外。評価基準日は2023年3月31日。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮していません。

優良日本株ファンド 〈愛称:ちから株〉

2024年下半期(7月~12月)の市場環境と当ファンドの運用状況

■ 市場環境

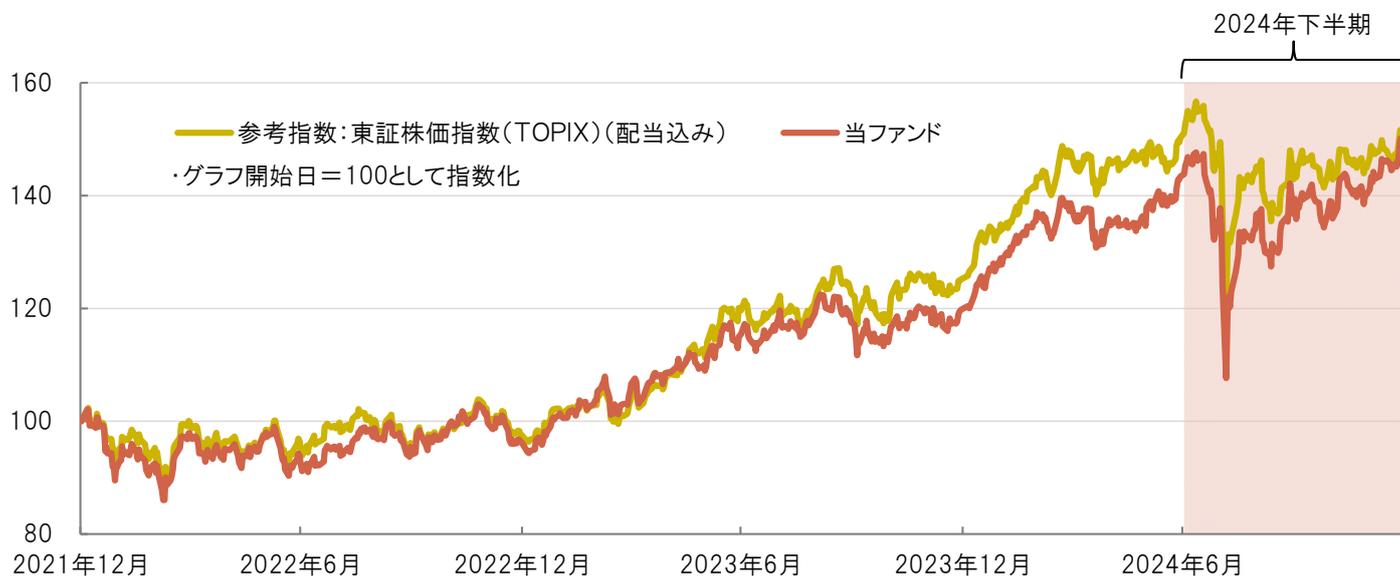
- ・ 当該期間の東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、0.3%上昇しました。
- ・ 2024年7月から8月上旬にかけては、米国で景気後退の可能性を示唆する経済指標が発表されたことに加え、外国為替市場で日米金利差の縮小を見込んだ円高米ドル安が急速に進行したことなどから大きく下落しました。
- ・ 2024年8月中旬から12月末にかけては、衆議院選挙を通過したことによる投資家心理の改善や米国の底堅い経済指標などを背景として外国為替市場で円安米ドル高が進行したことなどから上昇しました。

■ 当ファンドの運用状況

- ・ 当該期間の当ファンドの基準価額(分配金再投資)は、4.0%上昇しました。
- ・ サンリオ(中型株)、JVCケンウッド(中型株)、日立製作所(大型株)などが基準価額にプラスに寄与した一方で、大阪ソーダ(小型株)、ルネサスエレクトロニクス(大型株)、SCREENホールディングス(中型株)などが基準価額にマイナスの影響となりました。
- ・ 2024年下半期に組み入れを開始したディー・エヌ・エーなどの組入比率が高い銘柄群が堅調に推移したことも、当ファンドにとってプラスに寄与しました。

(2024年12月30日時点)

直近3年間の当ファンド等のパフォーマンス (期間:2021年12月30日~2024年12月30日)



半年毎騰落率	2022/1- 2022/6	2022/7- 2022/12	2023/1- 2023/6	2023/7- 2023/12	2024/1- 2024/6	2024/7- 2024/12
当ファンド	-7.5%	4.1%	19.9%	3.8%	19.7%	4.0%
参考指数: 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)	-4.8%	2.4%	22.7%	4.5%	20.1%	0.3%

・ 上記は当ファンドの理解を深めていただくことを目的としており、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を今後も組み入れることを保証するものではありません。規模別表記は、東京証券取引所によるものです。上記グラフおよび表の「当ファンド」は、基準価額(分配金再投資)、運用管理費用(信託報酬)控除後です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。当ファンドの騰落率は、実際の投資者利回りとは異なります。2024年2月に参考指数: 東証株価指数(TOPIX)を設定来から「配当込み指数」に変更しています。参考指数は、国内株式の値動きをご説明するために表示しており、当ファンドのベンチマークではありません。

・ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。表示桁未満は、四捨五入しています。

優良日本株ファンド 〈愛称:ちから株〉

2025年上半期の国内株式市場見通しと今後の運用方針

■ 2025年上半期の国内株式市場見通し

世界経済を牽引する米国ではインフレへの過度な警戒感が後退する中、景気は堅調に推移しています。一方、2025年1月に大統領に就任するトランプ氏が掲げる関税計画が実行された場合、世界的に景気への影響が出るものと考えられ、2025年上半期の国内株式市場は、関税計画を含めたトランプ氏の政策に一喜一憂する展開になると考えられます。

■ 今後の運用方針

2024年の国内株式市場は、円安米ドル高や上場企業による自社株買いなどを背景として上昇しました。しかしながら、今後国内外の政治などによる不確実性が強まる局面においては、投資家心理への影響などを通じて相場の物色に変化する可能性があります。そのため相場環境に左右されない独自の成長要因を持つ企業の発掘を継続するとともに、業種配分や銘柄ウェイトのコントロールなどの精緻なリスクコントロールを実施していく方針です。

・市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合があります。

(2024年12月30日時点)

TOPIC

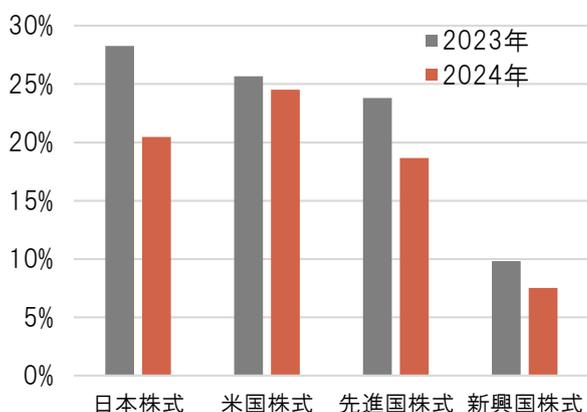
運用チームの着眼点 ～TOPIXの新陳代謝に伴う企業価値の向上～

- 2023年に続いて2024年もTOPIX(配当込み)の騰落率は、20%以上の上昇となりました。そのため株価の停滞が長らく続いた日本株に対して、これまでとは異なる印象をお持ちの方も出てきたのではないのでしょうか。特に2024年は8月に市場が急落し投資家心理を冷やした場面もあった中での上昇ということもあり、底堅さを感じさせました。株価や資本効率を意識した経営の進展による収益性改善や上場会社による自社株買いが相場を下支えしたことなどが背景にあるとみられます。
- 運用会社による議決権行使基準の厳格化やアクティビスト*1の台頭などは継続すると考えられ、2025年も企業経営の高度化の進展や自社株買いは継続するとみています。加えて、TOPIXの指数改革の進展は、国内株式市場に好影響をもたらすとみています。TOPIXの採用銘柄見直しの第一段階は、2022年4月の東京証券取引所の市場区分再編からスタートしました。流通株式*2時価総額が100億円未満の銘柄は段階的にTOPIXにおけるウェイトが低減され、これが2025年1月末に完了します。その時点で条件を満たしていない銘柄はTOPIXから完全に除外されることになり、TOPIXの構成銘柄数は約2,200銘柄から約1,700銘柄と大幅に削減される予定です。結果として流動性の向上や構成銘柄の企業価値向上の促進などを通じて指数としての魅力が増すと考えています。

(2024年12月30日時点)

*1アクティビスト:積極的に権利行使等を行う株主のこと *2:流通株式:上場企業が発行する株式のうち、市場で自由に取引ができる株式のこと

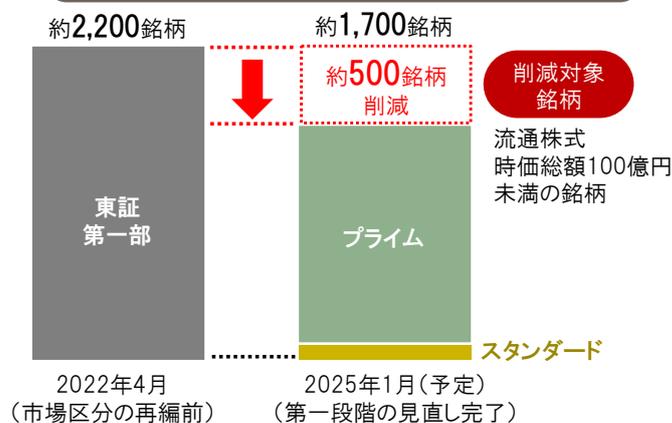
資産別騰落率



・上記は指数(配当込み)を使用しています。日本株式:TOPIX、米国株式:S&P500株価指数、先進国株式:MSCI ワールド インデックス、新興国株式:MSCI エマージング・マーケット インデックス
 ・指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
 (出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

TOPIX採用銘柄数(イメージ図)



・上記はイメージ図であり、全てを網羅するものではありません。
 (出所)JPX総研の資料(2024年9月27日)を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

優良日本株ファンド 〈愛称:ちから株〉

当ファンドは、「割安な銘柄」に注目するだけでなく、「競争力のある優良銘柄」に注目し、厳選された銘柄選択を行います。

・右記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合があります。



当ファンドが考える、「競争力のある優良銘柄」

◀ 着目点 ▶

企業の体力

豊富な資金を活用した
M&A・海外展開・設備
投資

業界シェア

競争力のある商品・サー
ビスの提供を通じた国内
外でのシェアアップ

株主への姿勢

経営者の先行きの
業績への自信の表れ

2024年下半年期、当ファンドの基準価額にプラスに寄与した主な銘柄（2024年12月30日時点）

サンリオ（業種:卸売業）

- ◆ **銘柄概要:**「ハローキティ」に代表されるキャラクターを用いたショップビジネス、グローバルライセンスビジネスなどを手掛ける。
- ◆ **運用チームの視点:**複数のキャラクターの育成に成功したこと、海外展開を本格化させたことなどを背景に安定的に事業を成長させていることを評価しています。
- ◆ **プラスに寄与した理由:**好調な決算の公表により、今後の業績拡大への期待が高まったことなどから、株価は上昇しました。

中型株



JVCケンウッド（業種:電気機器）

- ◆ **銘柄概要:**カーナビゲーションやドライブレコーダーなどの車載機器が主力製品。
- ◆ **運用チームの視点:**無線システム事業では米国での競争環境が緩和したことで、中長期的な業績成長が期待できると考えています。
- ◆ **プラスに寄与した理由:**売上の拡大や収益性の改善を背景とした好調な決算の公表に加え、米国での成長戦略が評価されたことなどから株価は上昇しました。

中型株



日立製作所（業種:電気機器）

- ◆ **銘柄概要:**大手総合電機メーカー。IT・エネルギー・ビルシステムなどの幅広い製品・サービスラインナップを提供。
- ◆ **運用チームの視点:**事業構造改革や事業ポートフォリオの見直しを概ね完了し、今後は成長投資とともに株主還元も強化していく方針を引き続き評価しています。
- ◆ **プラスに寄与した理由:**子会社の日立エナジーでは電力需要の拡大・再生可能エネルギーの拡大などを背景として受注が増加しており、今後の業績拡大への期待が高まったことなどから、株価は上昇しました。

大型株



(期間)株価:2024年6月28日~2024年12月30日

(出所)Bloombergのデータ、各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当該期間において当ファンドの基準価額に影響が大きかった銘柄の中から特徴的な銘柄をご紹介します。個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

・業種は、東証33業種で分類しています。上記の規模別表記は、東京証券取引所によるものです。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

優良日本株ファンド 〈愛称:ちから株〉

2024年下半期、当ファンドの基準価額にマイナスに影響した主な銘柄（2024年12月30日時点）

大阪ソーダ（業種:化学）

- ◆ **銘柄概要:** 電解技術を基盤とした基礎化学品、機能化学品を主力としてヘルスケア、商社部門など多角的に展開。
- ◆ **運用チームの視点:** 糖尿病治療薬の精製用途として着実な成長を続けるシリカゲルについては、肥満治療薬の急速な需要の高まりを背景に、成長が加速するとみています。
- ◆ **マイナスに影響した理由:** 肥満治療薬の世界的な需要の高まりは継続しているものの、シリカゲルを使用しない肥満治療薬が今後上市されるのではないかという懸念が台頭したことなどから株価は軟調に推移し、当ファンドにマイナスに影響しました。足下は、決算説明会において上記懸念が後退し、株価は上昇しました。なお、成長は継続するとみており、保有は継続しています。

小型株

業界シェア



ルネサスエレクトロニクス（業種:電気機器）

- ◆ **銘柄概要:** 大手半導体メーカー。マイクロコンピュータ、アナログ半導体などが主力製品で、自動車向けで高いグローバルシェアを持つ。
- ◆ **運用チームの視点:** 経営陣による適切な半導体ビジネスの運営を通じて、今後進展すると考えられる自動運転や自動車の電動化などを背景とした自動車用半導体市場の成長による業績拡大に期待しています。
- ◆ **マイナスに影響した理由:** 2024年12月期第2四半期決算では、産業用途での世界的な需要減少を背景に市場の期待を下回りました。第3四半期決算においても、産業用途の回復は見られなかったことなどから、株価は軟調に推移しました。なお、経営陣による適切なビジネス運営は継続されていると判断して、保有は継続しています。

大型株

業界シェア



SCREENホールディングス（業種:電気機器）

- ◆ **銘柄概要:** 半導体製造装置およびディスプレイ製造装置の大手メーカー。半導体製造に使用される枚葉式洗浄装置などに強み。
- ◆ **運用チームの視点:** 生成AIの活用拡大など最先端半導体の需要増加を背景に半導体製造装置市場は成長が見込まれており、同社の手掛ける洗浄装置の需要も高まるとみています。
- ◆ **マイナスに影響した理由:** 2025年3月期第1四半期決算および第2四半期決算では好調な業績を公表したものの、中国における半導体投資が一服するとの見方が台頭したことなどをを受けて、株価は軟調に推移しました。なお、中長期的な洗浄装置の需要は高まると引き続きみており、保有は継続しています。

中型株

業界シェア



(期間)株価:2024年6月28日～2024年12月30日

(出所)Bloombergのデータ、各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当該期間において当ファンドの基準価額に影響が大きかった銘柄の中から特徴的な銘柄をご紹介したものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

・業種は、東証33業種で分類しています。・上記の規模別表記は、東京証券取引所によるものです。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料で使用している指数について】 ■東証株価指数(TOPIX):東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)をあわせてご確認ください。

優良日本株ファンド 〈愛称:ちから株〉

【ご参考】運用チームが想定する日経平均株価水準（2024年12月30日時点）

日経平均株価の2025年度の見通しは37,800円から45,600円を想定しています。

※ 日経平均株価は当ファンドのベンチマークまたは参考指数ではありません。

- ・ 前提は日経平均株価の予想PERで14倍～16倍、為替は150円～160円(1米ドル)としています。
- ・ 予想PERが14倍、150円(1米ドル)等を前提とした場合では、日経平均株価は37,800円程度の水準を想定、予想PERが16倍、160円(1米ドル)等を前提とした場合では、日経平均株価は45,600円程度の水準を想定します。

為替・PER(株価収益率)水準からの日経平均株価予想 2025年度、円

	日経平均株価 予想水準			
	PER 14倍	PER 15倍	PER 16倍	PER 17倍
米ドル 140円 ユーロ 150円	35,700	38,300	40,800	43,400
米ドル 145円 ユーロ 155円	36,800	39,400	42,000	44,600
米ドル 150円 ユーロ 160円	37,800	40,500	43,200	45,900
米ドル 155円 ユーロ 165円	38,900	41,600	44,400	47,200
米ドル 160円 ユーロ 170円	39,900	42,800	45,600	48,500

・ 日経平均株価予想＝一株当たり純利益×PER(株価収益率) ・「一株当たり純利益」は運用チームの予想値 ・上記は、運用チームの見解です。

運用担当者からのメッセージ

平素は当ファンドをご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

2024年の国内株式市場は、企業の変革を裏付けとして上昇しました。株価や投資家を意識した経営を推し進める企業の意欲は足下も継続しています。P3でも触れたTOPIXの指数改革は、新陳代謝を促すことで指数としての魅力度を高めるとともに、構成する企業へ更なる変革を促すことにもなるでしょう。当ファンドの運用チームである「日本株オポチュニティ戦略チーム」は、企業の変化をとらえて投資を行う戦略を中心としており、この一連の改革は私たちにとって追い風になるとみています。

これからも当ファンドを通じて、みなさまの資産形成の一助となるよう尽力してまいります。今後とも当ファンドをよろしく願っています。

三菱UFJアセットマネジメント
エグゼクティブファンドマネジャー 友利 啓明



Hiroaki Tomori

・当ファンドの運用担当者とその肩書は2024年12月末時点のものであり、将来変更される場合があります。
・市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合があります。



ファンドマネジャーが
当ファンドのブランドバリューについて語る
ブランドページ もあわせてご覧ください

※左記は、三菱UFJアセットマネジメント作成・管理。一定期間経過後、予告なく削除されることがあります。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

優良日本株ファンド 〈愛称:ちから株〉

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、競争力のある優良企業の株式の中から、割安と判断される銘柄に投資することにより、値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長をめざします。

・株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。

特色2 競争力のある優良企業※の株式の中から、割安と判断される銘柄(ちから株)を厳選して投資します。

※競争力のある優良企業とは、業界内のシェアや株主還元、財務の健全性等の観点で、相対的に評価が高いと委託会社が判断する企業をいいます。

・銘柄選定にあたっては、株価の割安度等に着目して30～50銘柄程度に投資を行います。

・実際の運用にあたっては、主に優良日本株マザーファンドを通じて投資を行います。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.3%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.1%(税抜 年率1%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

《本資料のご利用にあたっての注意事項等》

- 本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00～17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 優良日本株ファンド (2024年12月30日時点)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者 沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
株式会社沖縄海邦銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第3号	○			
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社三十三銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第16号	○			
CHEER証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3299号	○	○		
株式会社筑波銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第44号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社北陸銀行(インターネット専用)	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第41号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。